

JAITIとは、「財団法人日本農業研修場協力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの略文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる根幹」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発行所 (財)日本農業研修場協力団  
〒386-0502 長野県小県郡武石村沖456  
TEL.0268-85-3465 FAX.0268-85-3583

## 今日のジャイチ

前期事業、収支報告と、今期事業予定、その他のお知らせを致します。

### ◆第七期事業・収支報告

カカニ農場へ松浦浩評議員を、「社」国際農林業協力協会の助成金を受け、二二〇日間派遣。松浦さんには、一九九一年から続けて常駐しての指導を受けた結果、昨年十二月より、ネパール人農場支配人ラクバ・シェ

井野・みすずさんの全額寄附にて新しい、鉄骨材使用の大型建設物の技術指導を、「社」国際建設技術協会の助成金を受けて、溶接技術指導を竹村好平さん、竣工検査を阿久井喜隆さんの手により実施した。

◆第八期事業予定  
カカニ農場は実質的に、自立運営の初年度で、本年度は赤字予算ですが、次年度の経営収支黒字化に向けて指導を実施します。

ルバの自主運営に移管し、二〇〇一年からの自立経営に向け出発しました。

生徒と教職員に対する寄附を参照して下さい。一現在生徒数は二一〇人在校。

パシニバント学校は、今期も施設建設費と運営費の一部に、ボランティア貯金の配分を受けました。二〇〇三年からの段階的自立運営移行に向けて、一つ一つ準備します。寄生虫に関する作業も、二年目に入りまして、昨年の経験を生かして次に臨む作業を、春木

・藤野チームで実施します。活動事業費は、各種助成団体申請していますが、実態は非常に厳しいと同時に不確定部分も多く、支援者の皆様方の、更なるご協力をお願いする次第です。それでも不足の事業費は、財団設立代表者の小林副理事長が補填して作業します。

ナツア、各地のバザー、活動発表会に出向き、又、武石事務局をお訪ね戴いて、皆様に当団の事業実態をご理解願えればと考えます。

◆新理事紹介  
長野県内の活動推進を意図して、一名加わりました。宜敷くお願い致します。下村 恭 長野県丸子町 (事務局・菊池)

パシニバント学校は、施設建設費と運営費の一部に、郵政省国際ボランティア貯金に係わる寄附金の配分を受け、二年に亘る工事となった講堂も、建設資金は安

現地での活動状況視察を、ジャイチツアー、郵政省ビデオ製作班、「財」自治体国際化協会職員海外研修班等の方々にも、見聞戴きました。

その他、バザー、講演会、写真展、スライド映写会等を各地で開催して、沢山の皆様のご協力と参加を賜わり、有難うございました。

活動事業費は、各種助成団体申請していますが、実態は非常に厳しいと同時に不確定部分も多く、支援者の皆様方の、更なるご協力をお願いする次第です。それでも不足の事業費は、財団設立代表者の小林副理事長が補填して作業します。

◆新理事紹介  
長野県内の活動推進を意図して、一名加わりました。宜敷くお願い致します。下村 恭 長野県丸子町 (事務局・菊池)

ネパールが持つ豊富な文化遺産、種かな国民性、広範な歓待、そして他に比類無き自然景観等、世界の人が最も大切な部門であり、数千人の雇用機会と大小共々の規模の収入を生み出す機会を提供するため、経済的にも二、三位を競う重要な外貨獲得の資源であり、早い資金回転も見込める。

## ネパールからの礼状

ネパールの実験研修農場のある、地元村長から、農民を代表して礼状が届きました。

◆新理事紹介  
長野県内の活動推進を意図して、一名加わりました。宜敷くお願い致します。下村 恭 長野県丸子町 (事務局・菊池)

ネパールが持つ豊富な文化遺産、種かな国民性、広範な歓待、そして他に比類無き自然景観等、世界の人が最も大切な部門であり、数千人の雇用機会と大小共々の規模の収入を生み出す機会を提供するため、経済的にも二、三位を競う重要な外貨獲得の資源であり、早い資金回転も見込める。

◆新理事紹介  
長野県内の活動推進を意図して、一名加わりました。宜敷くお願い致します。下村 恭 長野県丸子町 (事務局・菊池)

ネパールが持つ豊富な文化遺産、種かな国民性、広範な歓待、そして他に比類無き自然景観等、世界の人が最も大切な部門であり、数千人の雇用機会と大小共々の規模の収入を生み出す機会を提供するため、経済的にも二、三位を競う重要な外貨獲得の資源であり、早い資金回転も見込める。

カカニのジャイチ農場のお陰で、農業技術面だけでなく、他の農村開発作業、特に生産品の加工・販売指導にもご協力下さり、当地域の農民達は、心より感謝を申し上げます。中略(継続指導のお願いが書かれています)。最後に、カカニ農場に昨年迄滞在してご指導された、松浦浩様へ、私達の心からの御礼の気持ちを伝え下さい。

一九九九年五月三十一日  
ワニバワ村長 ジト・バハドゥル・パラミ

◆新理事紹介  
長野県内の活動推進を意図して、一名加わりました。宜敷くお願い致します。下村 恭 長野県丸子町 (事務局・菊池)

◆新理事紹介  
長野県内の活動推進を意図して、一名加わりました。宜敷くお願い致します。下村 恭 長野県丸子町 (事務局・菊池)

◆新理事紹介  
長野県内の活動推進を意図して、一名加わりました。宜敷くお願い致します。下村 恭 長野県丸子町 (事務局・菊池)



▲キウイフルーツの挿木試験 後方はイチゴ畑

## ネパール情報

紙面の都合で前号は休みましたが十五号の続きです。

### (2) 医療製薬業

将来は急激に増加が期待される。現在二十億ルピー以上に薬を必要としている、二千万人という大きな市場があります。二十年間に二億の需要が予想される。その需要に対して、国内生産は約二十％しか出来てません。抗生物質、結核予防薬、鎮痛剤、ビタミン剤、マラリア予防薬、解熱剤、アメーバ予防薬、下痢止め、O・R・S、制酸剤、駆虫剤等の薬品類の生産工場が系統的に設立されれば、投資効果も期待出来るし、ネパール国民にとっても大変助かることであり、政府にとつては外貨節約にもなる、多重成果が見込める。

### (3) 観光事業

ネパールが持つ豊富な文化遺産、種かな国民性、広範な歓待、そして他に比類無き自然景観等、世界の人が最も大切な部門であり、数千人の雇用機会と大小共々の規模の収入を生み出す機会を提供するため、経済的にも二、三位を競う重要な外貨獲得の資源であり、早い資金回転も見込める。

# 感動

安井 将



▲講堂の落成式典で挨拶する安井さん（左から2番目）と小林夫妻（右側）

待ちに待った二年間、平成十一年二月十日、朝から子供の様子を気持ちで私と、私のお供をして下さる松井様と津から関西空港に向かった。機内では私の尊敬するネパールのお父さん、お母さんと云われる小林様ご夫妻と、ジャイチの事務局長である菊池様と一堂に会する事が出来、早やネパールに飛び立った様な気分であった。その日の夜中、ネパールに着いた。二月十二日午前九時、バシネパント学校の校門をくぐった。両側に集まっている可愛い子供達と父兄の人垣の中を完成されたミスズホールへ

と進んだ。子供達から「ナマステ」との声がかかった。しゃくなげの花束や、レイを首にかけてくれ、天国に昇った様な気持ちでホールに着いた。そこで、テーブルカットが行われた時、二百五十人位のお父さん、子供達から拍手がおこり、山にこだまする様な喚声であった。私の顔は涙し涙でハンカチが絞る程であった。再び校庭へ出て式典が始まった。関係者の挨拶の後、先生が作詞、作曲された歌を合唱する子供達の声が流れて来た。言葉は分からないがその中に「マサルヤスイ」という声

が聞こえた。再び感激で言葉が出なかった。子供達から私に挨拶と花束をもらい、民謡踊りを披露してくれ、行事はクライマックスに達し、時間のたつのが分からなかった。最後に日本語で「さようなら、有難う」と大声を張り上げたら全員から「サヨウナラ」と日本語で返って来た。天に届く

程高く両手を振り上げて別れを惜しみつつ、その場を去った。ネパールの皆様に永久の幸せが訪れる事を祈りに祈った。我々夫婦の行った小さな行為に対し、ネパールの人達がこれ程喜んで下さった事に韓国して再び感動した。

程高く両手を振り上げて別れを惜しみつつ、その場を去った。ネパールの皆様に永久の幸せが訪れる事を祈りに祈った。我々夫婦の行った小さな行為に対し、ネパールの人達がこれ程喜んで下さった事に韓国して再び感動した。

## 里親だより 夢を託して

並木のぶ枝



▲ニーマ君

今までのいろんなボランティア活動を紹介されてきたのですが、まだ現役で働いていますので時勢と心の余裕がなく主旨には賛同できてもなかなか参加できないのが現状でした。里親制度を紹介され、遠くに夢を持つ一それで相手も少しは助かるのならと気軽に参加させてもらいました。「ニーマ君」とも利用な子です。父親もしつかりして家族の様子を知らせてきてくれました。学校もおもしろくがんばってやっています。成績もよく、その上もねらっていきなさいといっ

お便りが届くのはとてもうれしいのですが、何しろ十年も遠ざかっていった英語を訳解すること書くことはとても大変です。辞書を片手にしながら達筆な文字を追い、こんな意味ではとおよその意味をつかむのが精一杯です。書くこともしかり、自分の意を上手に翻訳できないので、どうしてか最後は仕方なく例文をみて適当に書いてしまします。早く娘に手紙を書くことと読むことを応援してもらえるといいなあと思っています。

### 西暦・ネパール暦転換表

平成 11年度  
西 暦 1999年8月1日～2000年1月31日  
ネパール暦 2055年4月16日～2056年10月17日

日本の生活は、西暦と年号で動いているが、ネパールは、ヴィクラム (Vekram) 暦。日本とは約3ヶ月半のずれがあります。ご参考に。

○印は休日

西 暦	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日															
西 暦 1999/8/1～31	①	2	3	4	5	6	7	⑧	9	10	11	12	13	14	⑮	16	17	18	19	20	21	⑳	23	24	25	26	27	28	㉑	30	31						
ネパール暦 2055/4/16～5/5	16	17	18	19	20	21	⑳	23	24	25	26	27	28	⑳	30	31	1	2	3	④	⑤	6	7	8	9	⑩	⑪	⑫	13	14	15						
西 暦 1999/9/1～30			1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	10	11	⑫	13	14	⑮	16	17	18	⑰	20	21	22	⑳	24	25	26	27	28	29	30					
ネパール暦 2055/5/6～6/3			15	⑮	⑰	⑱	20	21	22	23	24	25	⑳	27	28	29	30	31	32	①	2	3	4	5	6	⑦	⑧	9	10	11	12	13					
西 暦 1999/10/1～31				1	2	③	4	5	6	7	8	9	⑩	⑪	12	13	14	15	16	⑰	18	19	20	21	22	⑳	24	25	26	27	28	29	30	㉑			
ネパール暦 2055/6/4～7/14				14	⑮	⑰	18	19	20	21	⑳	23	24	25	26	27	28	⑳	30	①	②	③	4	5	⑥	⑦	8	9	10	11	12	⑬	14				
西 暦 1999/11/1～30					1	2	③	4	5	6	⑦	8	9	10	11	12	13	⑭	15	16	17	18	19	20	21	22	⑳	24	25	26	27	⑳	29	30			
ネパール暦 2055/7/15～8/14					15	16	17	18	19	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	30	1	2	3	④	5	6	7	8	9	10	⑪	12	13	14			
西 暦 1999/12/1～31						1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	10	11	⑫	13	14	15	16	17	18	⑰	20	21	22	⑳	24	25	26	27	28	29	30	31	
ネパール暦 2055/8/15～9/16						15	16	17	⑱	19	20	21	22	23	24	⑳	26	27	28	29	1	2	③	4	5	6	7	8	9	⑩	11	12	13	⑭	15	16	
西 暦 2000/1/1～31							①	②	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	⑮	⑮	17	18	19	20	21	22	⑳	24	25	26	27	28	29	㉑	31
ネパール暦 2055/9/17～10/17							⑮	18	19	20	21	22	23	⑳	24	25	26	27	28	29	30	①	2	3	4	5	6	7	⑧	9	10	11	12	13	14	⑮	17

い、そんな夢を託しながらやっています。そしていつか、日本に来てくれる日を、また私もネパールに会いにいける日を楽しみにしています。

あと何年か先、私も自由な身になります。そしてたもつとらもつと幅広い活動に参画できたらいいなあと思っています。

(長野県佐久市)



## バシュパント学校 寄生虫調査 (I)

わたしたち杏林大学医学部熱帯病・寄生虫学教室、春木宏介、藤野隆志の二名は一九九〇年十月十八日から十一月九日までの約三週間ネパールに滞在し、ジャイチバシュパント学校を訪ねました。目的は学校における寄生虫の実態と子供達の健康調査でした。多くの開発途上国の子供達は寄生虫感染症をはじめとする感染症に罹患していることが多く、そのため発育障害や貧血、ひどい場合には成人になる前に命を失う人も少なくありません。またその感

染症による学習意欲の低下は、将来のその国における経済的、社会的損失につながり、貧困との悪循環を形作っています。この悪循環は最近出来上がったものではなく、遠い過去から続いています。この状態は今日明日で変化するものではなく、時間をかけて少しずつ解決していく性格のものであり、その意味でジャイチによる草の根からの援助は重要と考えられます。

わたしたちは今回まずカトマンズで、共同研究者であるトリブバン大学のジール・バドワール・シェール・ケンド博士、ジャイチ・ネパールのマン支配人と合流しました。事前の打ち合わせを済ませ日本側二名、ネパール側五名の構成でシンパンジャンに向かいました。ネパール側の構成はシエル・バドワール博士のほか小児科医一名、公衆衛生専門家一名、検査技師一名、それにマン支配人でした。車を二台チャーターして資材を乗せ出発しました。カトマンズを離れるに当たって排気ガスの臭いも薄れて田園風景が広がってきました。所々ネパール式の家庭が点在しておりネパールにきたことを実感しました。川沿いに、タライに向かう道路と山に向かう道路の分岐点で昼食を取り、舗装の

悪い山道に入りました。所々山肌がむき出しになっており大きな岩石も顔をのぞかせていました。また昨年の雨風に磨かれた道があり森の影の差が同様にありました。曲がりくねった道を上り詰めるところがシンパンジャンでした。手持ちの高度計は二七〇〇mを示していました。(シンパ、滝、パンジャン、峠) という名前がよかったです。あつという間に霧がでてきて視界が悪くなっていました。

学校はシンパンジャンから少し下がった山の斜面にありました。校舎は新しく非常に綺麗でした。到着後、校長先生をはじめとする七人の先生を紹介され調査内容の説明を行いました。また翌日からの検査にそなえて発電機、顕微鏡のセッティングをおこないました。

先生が生徒に鞭鞭を持ってくるように指示すると、その当日の内に検体が三〇ほど届けられ、さっそく検査開始となりました。翌日には一〇〇検体以上が届けられ、寄生虫の卵の検査を行いました。一方児童の尿検査、身体測定、問診、診察も開始し、さらに児童本人とその家族に対する質問表を用いた、寄生虫疾患についての知識調査も行いました。到着後三日でほぼすべ

る検査を終え、寄生虫陽性の子供達に投薬を開始しました。実際六割の子供達がなんらかの寄生虫を持っており、多い子供では五種類の寄生虫を持っていました。治療後五日目に全員の実便検査を行い、寄生虫が駆除されたことを確認しました。

また子供達の栄養状態を調べるための採血を行い、最終日にはなぜ寄生虫は体に良くないか、どのようにすれば寄生虫を防げるかという衛生教育を教室で説明しました。最後に寄生虫検査で陽性であった家族にも投薬しました。そして子供達のお別れの会で、ネパールの歌と踊りを見たのちカトマンズに向かい帰国しました。子供達すべての記録は写真を取り付けた健康



◀生徒の健康診断をしている春木先生

手帳に記録され保管してあります。この計画は今後も続く予定です。次回は一九九〇年五月十四日から二週間を予定していますので、この文章が印刷されている頃には終了していることでしょう。この計画は日産科学振興財団からの援助によって二年間を予定しています。しかしながら、継続して行くことが非常に大切と考えています。いつかこの学校の卒業生から、衛生分野で働く人材が育つことを期待しています。自分たちの健康は自分たちの手で、その状況にあったものが一番長続きすると考えるからです。今回学校の児童の行き届いた教育に驚きを感じました。ジャイチの皆さんの努力が実を結んできていることを実感した第一回調査



◀持参した顕微鏡で糞便検査をする藤野先生

でした。今後また経過をご報告したく存じます。最後に存じましたが、わたしたちのために機材を運んで下さった数多くの皆様に御礼を申し上げます。またジャイチスタッフの皆様、援助をいただいている日産科学振興財団に感謝申し上げます。

(杏林大学医学部 春木宏介)

この調査は実働作業は、専門技師の現場員は、杏林大学の春木宏介、藤野隆志さんが中心で受け持ち、受け入れ調査対象地と、受診対象者に対する事前教育は、ジャイチが担当として、二年継続を最初の取組みとしていきます。

紙面への報告も、可能な限り取り上げる予定です。

# ネパールからの花嫁



▲タカリ族の風習による寺院での結婚式風景

今年五月十六日、長野県小県郡真田町で、竹村聖一さんとプラミラ・ゴルチャンさんの結婚生活が始まりました。

事の起こりは、昨年八月、聖一さんのお父さんにボランティアで、音楽技術の指導に、ジャイチの学校と農場へ二週間出てもらいました。滞在中触れ合ったネパールの人々の、家族を大切に生きる心に強く感動したお父さんは、是非、聖一さんにごこの国の女性と結婚して欲しいと思い、帰国後話し、本人も快諾して、十一月のジャイチツアーに参加し、カトマンズでお見合いすることにしました。

カトマンズへ家族三人で出て、ネパール流の結婚式と披露宴を行い、輝りは四人の家族となつて関西空港へ降り立ちました。

六月十九日、今度は日本での結婚披露宴を催し、大勢の人々が一人の前途を祝しました。会場にはジャイチツアーに同行した盛岡、富山、京都、首都圏、地元長野の仲間も駆け付けました。宴の後、思い掛けない一九九八年ツアー参加組は、二人のお祝いを出しにして旧交を暖める一泊二日の初夏の信州の旅の様子でした。披露宴会場で耳にした話しの、国際交流の言葉を訳山見聞するが、この結婚は正にお手本、異文化を認め合つて共生することこそ、国際化の基本。二人に続く人が次々と生まれることを期待する声が大でした。

(事務局 菊池 へ)

## 古切手を集めています

かねてより一度訪れてみたいと念じていたネパールへの旅に昨年秋参加し、ホテルから眺めたヒマラヤの山々とそこに暮らすネパールの人々の素朴な人間性に接し大変感銘を受けました。この山々と人々に接し、人力を尽くすジャイチに、私共で何かお役に立つ事はなにかと話し合い、ささやかな古切手集めを始めました。一紙五〇〇円、ダンボール一杯でやつと五〇〇〇円、まだまだ換金出来るまでに

(安藤・棧・関口)

## 第十回JAITI-ネパールの農場と学校訪問の旅参加者募集

今年も左記のとおり実施します。  
募集要項ご希望の方、お問い合わせの方、ジャイチ事務局までご連絡下さい。  
●日程 十一月十四日(日)～十一月二十一日(日) 七泊八日  
●旅費 関西空港からの直行便で同日カトマンズ着、翌日よりダマンドゥバシユバント学校・チトワン国立公園・ボカラ(ミニトレッキング)・カトマンズ・カカニ農場・カトマンズと移動します。二十一日カトマンズより、関西空港へ。

は集まっています。この事を始めて来た感、激に出会う事が出来ました。前回のジャイチの広報を読み、北は岩手、南は広島、山口、外国からは遠くサンビアと、賛同頂いた上でのご協力に接し、その都度感謝をしております。  
「継続は力なり」の言葉の通り、益々この輪を広め今後共このささやかな感動を続けて参りますので皆様の「ご協力をお願いします」。

外国切手歓迎します。送る先〒一五八〇〇八四 世田谷区東玉川二〇一〇 安藤善子  
●費用 二十八万円、全ての旅費、宿泊費、食事が含まれています。参加者がこの他に用意する費用は、空港往復の日本国内交通費と、海外旅行傷害保険料だけです。  
●参加条件 一、二時間散歩が可能の方。  
●申込期限 八月二十七日(金) 但し、定例になり次第締切ります。  
●申込み先 〒三三八〇五〇二 長野県小県郡武石村沖四五六番地 ジャイチ事務局 豊田 類〇二六八(八五三)四六五 類〇二六八(八五三)五八三 類〇二六八(八五三)五八三 但し、ジャイチの企画で、案内しますが、旅行会社のバックツアーではありません。



切手の裏りに五ミリの余白を残してください。

## お知らせ

前回は東京都杉並区の一冊の会報より、ネパールへ直接寄附品がありました。紙面に掲載出来ませんでした。お詫び致します。ネパールとの連絡は密に行っておりますが、受付締切日の差が生じることもあり、その節はご容赦願います。  
●七月三十一日(土) 滋賀学区子供夏祭り(展示)  
●(市立志賀小学校)  
●十月二日(土) 三日(日) 国際協力フェスティバル (日比谷公園)  
詳細は、事務局までお問合せ下さい。

## ご寄附のお願い

ジャイチの活動を何れも心に留めて下さり、感謝申し上げます。運営されている財源その他について説明を取ります。ご協力をお願い申し上げます。  
1. ジャイチ基金……財団法人ジャイチの基本的財源の確保  
2. ジャイチ維持費……ジャイチの運営維持費  
3. ジャイチ事業費  
新たに大きい費用のかかる事業を計画した時にその応援費用として確保することを目的としています。  
振込先 番号 { 郵便振替 00510-4-85434  
銀行振込 八十二銀行九子支店(前) 420677  
口座名 財団法人日本農業研修場協力団  
住所 〒386-0502 長野県小県郡武石村456  
電話 0268-85-3465  
尚、金額に関しては規定がございませんので、お知りお取りご自分でお決め下さいませようお願いします。(例えば、収入の1%を、小遣の1%を、的を考えは如何でしょうか。)

## 物故者のお知らせ

支援者の方で、当方で把握している物故者を掲載致します。  
ご哀悼を祈りますと共に、感謝申し上げます。  
館崎 正信 九七年五月 (東京都世田谷区)  
上野 豊 九七年 (長野県伊那市)  
泉 宏昌 九八年二月 (東京都町田市)  
浪江 慶 九九年一月 (東京都町田市)  
近年日本の小児化傾向は、満ち足りた生活の結果かもしれない。生き物にとつては飢餓の状況も必要ではないだろうか。  
私もそうだが、いまの日本人の多くは、まるで水耕栽培の野菜のように思える。ネパールボランティアをしながら、本当に病んでいくのは日本なのではないかと思つた。(武石村 樹)

## 編集後記

子供を生産する畜産業者は、太っている豚は発情しにくいので、一週間絶食させて子供を残そうという本能を呼び起こすのだそうだ。植物もそうだ。干ばつの年には実をたくさんつける。もちろん、動物である人間もそうだろう。